



現地支援委員会

ニュースレター

「第21号」

2016年1月20日

from 東北

全国諸教会の皆様、日頃からお支えと励ましをありがとうございます。支援のために連盟総会において、被災された方々の手作り品を販売させていただきましたが、33,400円の売り上げとなりました。感謝いたします！仮設住宅での年末年始も5回目となりました。仮設住宅を出ても課題の中にある方もおられます。2016年も私たちは被災された方々と共に歩ませていただき、少しでもキリストにある励ましをお届けしたいと願っています。2016年もどうぞよろしくお願いいたします。今号では福島の様子、各被災地でのクリスマスの様子をお届けします。

福島 緑ヶ丘仮設・生活介護事業所たいむ I L 支援報告

緑ヶ丘東7丁目仮設住宅 クリスマス会

12月12日土曜日午前10時より午後12時—緑ヶ丘東7丁目仮設住宅をお訪ねして5回目のクリスマス会。今年はとっても暖かくゆっくりとしたクリスマス会を行うことができました。毎月、クッキーを手作りして送り続けてくださっている目白ヶ丘教会より、二人の壮年の方が応援に駆けつけてくださいました。一人は元当教会員のお父様。御懐かしい。もう一人の壮年はお医者さん。もう何度も足を運んでくださっており、皆さんと顔見知り。今回は血圧測定器を持参して、談話室の隅の方で健康相談室を開設してくださいました。そして、いつもの通り、「自分の足で歩いて元気にいつの日か仮設から旅立つ」を目標にしてストレッチ&筋トレ。40分ほど気持ちのよい汗をかきました。その後、恒例のビンゴ大会。みなさん真剣です。今回は私たちの教会を会場にして練習をしているゴスペルのチームのメンバー4人（内二人は当教会教会員）がクリスマスソングを特別賛美してください、その後、牧師がクリスマスメッセージをさせていただきました。もう、聖書を開いてお話をすることに違和感はないありません。なんだかとても自然な流れの中、みなさん真剣に耳を傾けてくださいます。また、あちこちの教会から送ってくださったクリスマスプレゼントを詰め合わせたお土産をお渡ししてとっても和やかなひと時となりました。暖かい日差しの中、お茶会が終わっても外のベンチでおしゃべりに花が咲き、なかなか解散にならなかったクリスマス会。先の見えない福島だからこそ、光が闇を貫く神様をどうしてもお伝えしたい。そのような思いと祈りが湧き上がりました。



緑ヶ丘仮設 クリスマス会

『生活介護事業所たいむ I L』の皆さんとの出会い

12月25日、『生活介護事業所たいむ I L』でメッセージ。ここは、東日本大震災のときに、避難所や仮設に入ることがなかなかできなかった福島県内の障がいをもった方々の為にも開放された場所です。埼玉に住む一人のクリスチャンボランティアの方との出会いをきっかけに、神様の導きで皆さんとの出会いが与えられ、一昨年の12月より教会に派遣していただいて、「牧師さんのお話を聴く時」が設定されました。毎月一度、小物を作ったり、身体を動かすストレッチタイムと聖書のお話をさせていただいています。終わったら、コーヒータイム。利用者の方々が、喫茶を開放してください、豆を挽いてコーヒーを入れてくださいます。とっても美味しいですよ。なんだか、「ただいま！」って入っていける大好きなところ。2年続けてクリスマスには、ハワイの教会と衛星中継でつなぎ、午後1時より向こうのキャンドルサービスと同時並行で、こちらでもキャンドルサービスを行い、マタイによる福音書から、インマヌエル、神我らと共におられる、の聖書箇所からメッセージをさせていただきました。神様と、笑顔で迎えてくださるみなさん、ありがとうございます。

(郡山コスモス通りキリスト教会 金子 千嘉世)



緑ヶ丘仮設 クリスマス会お菓子



「生活介護事業所たいむ I L」の皆さん

各支援場所でのクリスマス



野田村仮設 クリスマスコンサート



大槌安渡小前仮設 クリスマスカフェでいつものストレッチ体操



避難所だった東浜小学校(丘左) 高台移転の住宅造成地(丘右・工事中)、カキ処理場など震災後整備された牧浜



牧浜仮設 お茶っこの様子



元浦屋敷仮設 ハワイからのボランティアチーム、子どもたちと共に



キャンディリースとクリスマスプレゼント



小鉾第4仮設 クリスマスのためのキャンディリース作り

小鉾第7仮設



給分浜仮設 クリスマスケーキできました



宮前仮設 福岡有田教会、大井教会などから送られたクリスマスプレゼント